

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	総合政策部	防災危機管理課	稗貫川の洪水浸水想定区域について	亀ヶ森地区は稗貫川の中流地域にあり、早池峰ダムのお陰で人家まで巻き込むような洪水はないとは思っているが、最近の豪雨災害等を見ると大変心配である。ハザードマップには洪水による浸水想定区域が示されていないが、2年前に稗貫川も水位周知河川に指定されたことから、浸水想定区域の検討は進められているのか取り組み状況を伺いたい。	稗貫川の浸水想定区域については、現在、岩手県において令和3年3月末までに設定する作業が進められていると伺っている。市のハザードマップへの反映については、県の公表を受けて令和3年度の可能な限り早い時期に改定し、全戸配布したいと考えている。
2	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	大迫総合支所	地域振興課	亀ヶ森小学校閉校後の利活用について①	市として小学校閉校後の施設を利活用する構想や計画はあるか。	現段階では市として具体的な構想や計画はない。 9月25日(金)に亀ヶ森地区と内川目地区のコミュニティ会議の代表者と行政区長にお集まりいただき、亀ヶ森小学校及び内川目小学校閉校後の学校施設等の利活用に係る懇談会を開催し、両校の学校施設等の現状を説明しているが、今後はそれぞれの地区ごと、場合によっては大迫地域の方々と意見交換をしながら亀ヶ森小学校の学校施設の利活用について協議を進めてまいりたいと考えている。
3	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	教育部	教育企画課	亀ヶ森小学校閉校後の利活用について②	閉校後の施設の利活用について、亀ヶ森地域で相談した上で提案することができる場合、国の補助金や起債償還などの関係で、用途が限定されることはないか。	亀ヶ森小学校は平成10年度に国の補助金(公立学校施設等整備費補助金)と起債(義務教育施設整備事業債)を活用し、約10億円ほどかけて建築された。校舎棟は平成10年6月建築、翌年3月に体育館を整備。校舎の構造は鉄筋コンクリート造、2階建て、延床面積2,406㎡、体育館は鉄筋コンクリート造、延床面積957㎡、市内の学校では築22年という比較的新しい学校であり、立派な状況で保たれている。 国の補助を受け整備した学校施設を学校教育以外の用途に転用する場合は、国の財産処分手続きにより文部科学大臣の承認が必要となるが、国ではこの廃校施設の有効活用を促進する場合、無償による転用で、補助事業完了後10年以上経過しているなど一定の要件を満たしている場合については、廃校施設の転用時期の2か月前までに国へ報告書を提出することで承認され、その場合補助金の返還は必要ない。 また、起債については、令和6年までの償還期間となっているが、施設の転用は可能とされており、その場合の繰上償還の必要もない。 校舎の利活用の参考事例として、東和地区の例を紹介する。小学校6校が統合し東和小学校となり、校舎6校が閉校となった。それぞれ地域の振興センターや社会体育館、取り壊し更地となった例、取り壊し後にNPOの介護施設に活用した例あり。参考としていただきたい。
4	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	大迫総合支所	地域振興課	亀ヶ森小学校閉校後の利活用について③	令和3年3月に閉校する学校施設を、別目的で利活用できる時期についての考えはあるか。 今の学校施設は大変きれいに管理されていることから、閉校後においても引き続き施設内外の管理をしてほしい。	利活用の時期については、現段階では市として方向性が定まっていなことから未定。活用策が定まった段階で決めていきたい。 施設の管理についても、施設の利用目的が決まった後に協議、検討していく。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	教育部	こども課	大迫小学校統合に伴う「学童クラブ」の検討状況について	<p>亀ヶ森地区には学童クラブがなく、これまで週1回の放課後児童教室(ダルトン)に参加しているが、新年度から小学校統合に伴い大迫地区の早池峰学童クラブへ加入を希望する児童が増えると思われる。</p> <p>内川目や亀ヶ森の児童の加入に伴う指導員の確保はされているか。</p> <p>また、教育委員会では保護者に対し説明や意見交換の場を設けているか。</p>	<p>花巻市内には19の学童クラブがあり、1単位大体40人としているが、大きい学童では130人のところもある。利用している児童数は4月時点で1,161人、小学生の4人に1人が利用している状況。</p> <p>学童クラブの運営は地域や保護者、法人で組織する運営協議会が主体となっており、市が委託する形で実施していただいている。各運営協議会で予算を持ち、支援員を雇用し開所日数や保育料等を設定し運営していただいている。</p> <p>大迫地域の3小学校統合に伴い、来年度以降早池峰学童クラブの利用者の増加が見込まれることから、教育委員会では本年6月に3小学校の1年生～5年生及び大迫保育園、亀ヶ森保育園の3・4・5歳児の保護者へ利用希望等のアンケートを実施。その結果、令和3年4月時点の早池峰学童クラブの利用希望児童数は33名(うち亀ヶ森地域の利用希望者は4名)と令和2年5月現在の利用児童数19名と比較し、14名増加する見込み。</p> <p>施設については、早池峰学童クラブが使用している大迫小学校敷地内の「はやちね生き生き交流館」は2階建ての建物で、学童クラブの活動に供することができる有効面積は、1階が約85平方メートル、2階が約20平方メートル、合計105平方メートルある。市の条例で定める学童クラブに必要な面積は、児童1人につき1.65平方メートルとなっており、来年度利用希望見込み児童数33名に対する1人当たりの施設の面積は最大3.18平方メートルとなり、学童クラブの活動場所としては十分に確保できることから、教育委員会では今後もこの施設を使用する考え。一方で、はやちね生き生き交流館は学童クラブの占有施設ではないことから、学童で使用する備品の管理や設備の使い勝手による不便も生じていることを学童クラブ関係者から伺っている。施設所管の大迫総合支所とも協議しながら、可能な範囲で改善を図ることについて検討していく。</p> <p>学童クラブの運営体制については、早池峰学童クラブ運営委員会と教育委員会との間で意見交換会を本年度2回開催している。2回目の意見交換会には、大迫地域3小学校のPTAの代表者にも出席いただき、代表者の皆様からは統合後の学童クラブの保育料の改定の可能性や小規模の学童クラブであっても保育のサービスの充実を望むこと、内川目、亀ヶ森地区の児童を含めた利用を希望する児童を受入れていただける体制の確保などの御意見等を頂戴し、運営委員会からも学童クラブが安全で保護者が安心して利用できる環境を整えていく必要がある、開所時間の拡充などを図るため、放課後児童支援員の増員や運営体制の改善等について検討していきたいとの発言があった。</p> <p>来年度からの学童クラブの開所日数、開所時間、放課後児童支援員の確保や保育料のあり方などの課題について、現在、運営委員会とこども課の間で打合せを重ねており、運営委員会では利用希望児童を受け入れるための放課後児童支援員の確保や開所時間等の充実が図られるよう検討を進めていると伺っている。</p> <p>保護者の皆様への説明の場を設けることについては、これらの運営体制の見通しが立ち次第、運営委員会において、11月以降就学児健診の場などの機会をとらえて説明会を行う予定であることを伺っている。</p>

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	農林部	農村林務課	獣害に対する市の対策について	今年には熊の被害が多発し、先日も内川目で人身被害があり全国ニュースになったが、熊に限らず、鹿やイノシシなど獣害に対する対策について、市として今後どうしていく考えか伺いたい。	熊の問題については、先日も内川目と太田で襲われ、どちらも農作業中の事故であった。以前は出会い頭で襲われることが多かったが、後ろから襲われたり猟友会の方も襲われたりと熊の生態も変化してきている。 熊については、今年には既に10数頭も捕っているが、罠をかけて捕る方法が一番安全と考えている。都会の環境保護団体からはいろいろ言われるが、人命を守る上では捕ることは大事である。イノシシや鹿についても罠をかけることが大変重要。罠の免許を多くの皆さんに取っていただいて、罠をかけていく必要がある。 市としては、農水省の補助金(1頭当たり8,000円)に対し、上乗せ補助をしているが、市の予算を増やせば捕っていたらただけなのであれば増やすことも検討する。ただ、今現在では捕る人が少なく、お金の問題ではないのが実態。 花巻には二つの猟友会があり、鹿の駆除等について一緒に活動いただいております。少しずつ駆除等の活動する人員も増えてきています。 電気柵については、市の補助金をどんどん活用いただき設置してほしい。
7	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	総合政策部 建設部	防災危機管理課 道路課	豪雨被害による浸水域に対するの対策について	亀ヶ森地域は、大雨が降ると3区の低地が広範囲に浸水し県道が通行不能となり、6区～7区付近も土石流の被害が心配される。花巻方面へ行く道路が寸断されてしまう。 100年や50年に一度の豪雨災害に備え、道路の嵩上げや堤防等計画的に進めていく必要があるのではないかと。検討いただきたい。	亀ヶ森3区の堤防については、以前から市より県土木センターへ要望を提出している。それに対する県の捉え方は、民家が浸水するような場所が優先されることである。市内でも堤防ができていない箇所は、北上川の沿線を含め多いため、県でも一度にはできないことから、危険度を勘案しながら対応していくことと伺っている。 岩手県は復興にお金がかかり、国からの復興交付金を使い沿岸中心に公共事業を行ってきた。その結果内陸については手薄になっていることは事実。今は復興交付金は沿岸の復興が終わったことでもえなくなり、以前にあった社会資本整備総合交付金という補助金を復活しようとしているが非常に厳しい状況。 堤防の件は国の北上川の堤防整備も、八重畑や新堀においてもできておらず、人家がないところはどうしても後回しになっている。 稗貫川が周知河川となり、今度洪水浸水区域の指定がなされる。大雨の際は稗貫川の水位については監視体制がとられ、必要な時に避難準備高齢者等避難開始や避難勧告を発令できる体制は整えているため、そういう意味では人命を守っていくため一生懸命させていただいている。
8	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	建設部	道路課	県道羽黒堂二枚橋線の道路の改良について	花巻方面へ向かう際の道路について、石鳥谷町滝田の晴山農園さんと宇都宮さんの垣根を切っていただき大変通り易くはなったが、道路の取り付けが悪い。また、羽黒堂のT字路のあたりも冬期間の道路の凍結による事故が絶えず、花巻北上方面へ通じる道路を確保する意味で拡幅や見直しをしてほしい。	石鳥谷町滝田の県道羽黒堂二枚橋線については、勾配が急なこともあり冬道は危険であることはご承知のとおりである。 塀を撤去するなど改良しているということは、県において拡幅する等の計画があるのと思うが、以前から皆さんからの御意見をいただいている箇所であると思われる。 →県土木センターへ確認したところ、歩道設置を計画しており、今年度は塀の撤去を行ったとのこと。その旨、発言者へ連絡済み。
9	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	建設部	道路課	市道赤井森線の道路の改良について	市道赤井森線は 亀ヶ森から紫波町に抜ける道路であり、SWS東日本(株)大迫工場に紫波町から通勤する方も多く大変重宝しているが、道幅が狭いことに加え、カーブが多く高低差もあるため大変見えにくく危険である。 朝晩の通勤時、かなりのスピードで通行するため非常に危険なことから、道路の拡幅等改善していただきたい。 大きな地元の企業のため大事にしていかなければならないと思う。	市道赤井森線は、確かに幅員は狭く、紫波町と接しているため、当市及び紫波町どちらにおいても改良が必要であることは感じていることと思われる。 道路改良についての要望は、区長を通じ提出いただいているが、この赤井森線に関する要望は恐らく出ていなかったと思われる。今後区長を通じて要望が出された際は、市全体的に緊急度を勘案しながら整備していくこととなる。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	大迫総合支所	地域振興課	亀ヶ森小学校閉校後の利活用について④	亀ヶ森小学校の閉校後の利活用案として、例えば地元の唯一の誘致企業であるSWS(株)大迫工場に、新たなものを生み出せるようなその研究施設として活用していただくとか、あるいは、新たな醸造所、ワイナリーに体育館や調理施設を使っただけなど、新たなぶどう産業の振興策に利用するなど、産業振興に活用してはどうか。	小学校の跡地の施設の利活用については、産業振興という選択肢も一つの要素であり、非常にいいご意見をいただいたと思っている。地域の皆さんと一緒に今後の方向性について考えていきたい。
11	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	教育部 大迫総合支所	こども課 地域振興課	大迫小学校への統合及び早池峰学童クラブの施設について	亀ヶ森地区からの動線を考えたとき、人の流れは自然に花巻方面へ向かって進んでいるが、大迫小学校との統合は亀ヶ森からの動線とは反対方向に向いており、様々な研究の上からすると、この問題はかなり無理があると言っている。動線の進む方向に人が集まるのが研究上明らかになっていることから、その点も含め、今後検討していく必要があると思われる。 また、仕事柄、大迫小学校に勤務していた経緯もあることから、早池峰学童クラブは学童施設としては非常に使い勝手が悪いと感じていた。当時は放課後学童で使用していても、地区の集まりがあるため十分な活動ができないこともあった。今も変わっていないとしたら、子供が安心して生活できる放課後の居場所としては適当であるか疑問。今日も南城学童クラブを拝見し、自分の居場所が確保でき、カバンを入れる場所もあり、自分の遊びたいものを持ってきて遊ぶことができる大変良い施設であったが、そういう意味で学童の施設としての改善を望む。	早池峰学童クラブについては、これまでの経過を見ると、施設としていくつもの団体が使用していることにより、様々なことがあったと思われる。 基本的には生涯学習施設であるため、合唱団体の方々には日祝日及び夜間にご利用いただいたり、保護者の勤務時間を勘案し保育時間の延長を検討いただいたり、自治公民館の活動は19時以降にさせていただくなど、整理させていただいた。 3団体が同施設を使用する中で不便はあると思うが、どの団体からも学童にとっては非常に安全で良い場所であり、学童の使用を優先することの認識を持っていただいている。この施設を十分活用する形、備品等についても改善ができる部分については、逐次検討していくことで不便を感じないように進めていく考え。保護者の方々からの要望もいただきながら改善して参りたい。
12	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	大迫総合支所	地域振興課	亀ヶ森小学校閉校後の利活用について⑤	最近耳にする言葉に、テレワークや働き方改革、東京一極集中の是正であるとか、そういったものへの活用策として校舎の活用は即対応可能ではないか。 ぜひ検討いただきたい。	ご意見として伺う。
13	R2.9.29	市政懇談会	亀ヶ森	大迫総合支所	地域振興課	亀ヶ森小学校閉校後の利活用について⑥	小学校閉校後の利活用を考えるときに、「おだやかな革命」というドキュメンタリー映画を紹介する。秋田、福島、岡山、岐阜4地区の取り組みが紹介されている。この映画を亀ヶ森で上映会を開き、これをヒントにし、どんなことができるか考えていきたい。	ご意見として伺う。